

二酸化炭素削減部会

地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の削減のための活動を続けています。

出前授業、イベントへの参加(今年度上半期)



6月25日 池子小学校アースデイ



7月7日 久木中学校



8月7日 こどもフェスティバル

エネルギー負荷の小さい環境づくりや自然エネルギーを積極的に取り組むための基礎学習を、将来を担う市内小中学校生に行っています。

太陽光パネル実験や、大気中のCO₂とその影響、特に大震災後の電力事情と省エネ、新エネの必要性を、実験を通じて実感してもらえよう、解りやすい出前授業やイベントを心がけています。

我慢しない節電対策はLED電球で

LED(Light Emitting Diode 発光ダイオード)電球は照明器具の消費電力を大幅に削減します。

(1)3種類電球の60Wクラスの比較一覧表 (1kWh=22円換算)

	白熱電球	電球型蛍光灯	LED電球
消費電力	54W	13W	8W
価格(参考)	100円	1,000円	4,000円
寿命(定格)	1,000時間	10,000時間	40,000時間
4万時間電気代(試算)	47,520円	11,440円	7,040円

(2)白熱電球・蛍光灯はワット(W)で明るさを表示しましたが、LED電球の明るさはルーメン(lm)で表示

白熱電球・蛍光灯のワット	40W相当	60W相当	100W相当
LED電球はlmで表示	485ルーメン	810ルーメン	1520ルーメン

(3)LED電球の口金サイズは、一般電球タイプ E26口金、小型電球タイプ E17口金の2種類があります。

(4)光の色と角度は電球を取り付ける場所(居間・トイレ・玄関・階段等)に合わせて選ぶ。

光の色は白く明るく感じる「昼光色相当」と黄色系で落ち着く雰囲気の「電球色相当」の2種類があります。光の角度は全方向形(約300°)と下方向形(約120°)の2種類があります。

人がいる時だけ点灯する人感センサー付の電球もあります。購入時は販売店で相談して下さい。

*LEDは、今のところ高価ですが元はとれます!

ずしし かんきょうかいぎ ニュース

第25号 2011年10月

事務局 逗子市環境都市部環境管理課
逗子市逗子5-2-16
Tel 046-873-1111

発行 ずしし環境会議(エコリーダーズ会議)

今年も「環境会議展」を開催しました

6月の環境月間中の6月4日(土)から10日(金)に市役所1階市民ホールにおいて、ずしし環境会議「まちなみと緑の創造部会」「ごみ問題部会」「二酸化炭素削減部会」が日頃の活動状況や、環境に関することについて、パネルを作成し展示しました。

また、環境展から引き続き、久木中学校と沼間中学校による環境学習の発表も展示しました。

今年は6月8日午前中に、逗子小学校4年2組の生徒約35名、午後には小坪小学校4年生の生徒約70名が見学のため来場し、数班に分かれてずしし環境会議のメンバーから展示の内容について説明を受けました。



今年も「市民まつり」に「ずしし環境会議」が参加します!

10月16日(日) (予備日:10月23日(日)) 場所:第一運動公園 テニスコート側駐車場

ずしし環境会議(エコリーダーズ会議)を紹介します

■ずしし環境会議とは

逗子市環境基本計画及び行動等指針(ローカルアジェンダ21)にそって、平成13年3月31日にずしし環境会議(エコリーダーズ会議)が発足しました。市の支援のもとに、市民や事業者が主体となって環境の保全・創造に向け、様々な取組み・活動を行っています。

■どんな活動をしているの?

ずしし環境会議は、「まちなみと緑の創造部会」「ごみ問題部会」「二酸化炭素削減部会」の3部会にわかれ、定例会(月1回)やイベント、調査などの活動を行っています。また、環境月間(6月)、市民まつりなどで活動報告などの展示を行っています。

主な活動
(まちなみと緑の創造部会)
・田越川さかな観察会 など

(ごみ問題部会)
・ごみの減量化、資源化の啓発 など

(二酸化炭素削減部会)
・地球温暖化防止のための啓発活動 など

■入会申込み・お問合せは、事務局まで

事務局
逗子市環境都市部環境管理課 Tel 046-873-1111 内線456、457



まちなみと緑の創造部会

当部会では、「逗子の自然環境を次世代にどのように伝えるか」をテーマとして活動を続けています。

磯ウオッチングの楽しみ

私たちの逗子には不思議な磯があるのをご存知でしょうか。

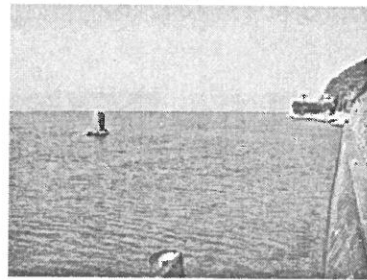
4～6月の大潮の干潮時にだけ、逗子湾の西、浪子碑の付近から大崎山の下を回って小坪の浜までつづく約1キロにおよぶとても広い磯が姿を現します。

観察には絶好のチャンスですので、いつもは海の底にいるいろいろな種類の魚、カニ、ウミウシ、ウニなどの生きものを運動靴を履いて歩き回り、手に取って観察を楽しむことが出来るのです。

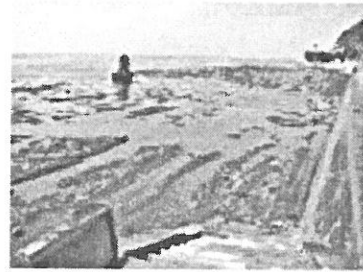
ぜひ家族のみなさんで楽しんでみて下さい。

しかし、安全にはくれぐれも気をつけて、また捕ってはいけないタコ、貝、海藻などを捕らないようにお願いします。

なお、私たちの部会では毎年この場所で観察会を開いています。



普通の干潮時



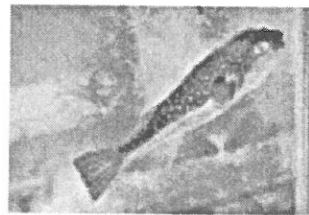
大潮の干潮時



6月5日に行った観察会の様子です



親子連れ 30 数名の方々が参加され、思い思いに網を持ったり熊手を使ったりして岩の隙間を覗き込んだり潮溜まりをかき回したりしながらいろいろな生きものを採集しました。



この日参加者のみなさんが集めたのはクサフグ、メジナの子、ボラの子、イソガニ、イソスジエビ、クボガイ、テツイロナマコ。海藻ではカジメ、オゴノリなど様々な種類の生きものが水槽に集まり、専門家の先生に種類や名前のほか身体の特徴や住んでいる場所などについて詳しく説明していただきました。

*** 部会ではこのほか「田越川さかな観察会」を行っています ***

ごみ問題部会

ごみ問題部会のごみの減量化・資源化をテーマに活動しています。

大震災に次ぐ大洪水、かたやアフリカでは長年の大干ばつ。この地球のバランスを崩したのは私たちの豊かで快適な生活です。大きな犠牲を払ってやっと節電のムードは高まりました。ごみ減量もそれに一役かっています。ごみ減量に向けては大勢の一步が必要です。

今年の市民まつりも「ごみゼロ」を目指して、昨年に引き続き「リユース食器の利用」を大幅に広げたいと思います。昨年使用して下さったボーイスカウト逗子第1団の方々も意欲的に支援して下さいます。

ごみ箱を置かないまつりも回を重ねるごとに定着し、昨年はクリーン作戦のメンバーも大変楽になりました。逗子市の誇りと自慢したいです。今年はお一層の進展を期待しています。

さいたまエコツアーに参加して 6月26日

2月のかんきょう連続講演会講師「戸田市民に花で魔法をかけたミラクル職員」の吉田義枝さんを訪ねて、まずは戸田市役所へ。特に印象に残ったのは、生ごみの堆肥で町を花いっぱい環境に、古紙や古着は高値で売り、エコバック作りやスポンサーを募りエコうちわ作りの場を設け、障がい者や高齢者の雇用と自立の支援をしていることなどでした。午後は久喜宮代町の生ごみ減容化システム見学へ行きました。それは HDM という多種多様な微生物を利用したシステムで、悪臭も少なく、水分調整もすみやかに出来る優れもので、逗子市としても参考にできそうなシステムでした。

それぞれの施設を見学し、「生ごみは宝だ」「ごみは資源」ということを学び、捨てて焼却するだけでなく、減量化とリサイクルが重要であると改めて痛感しました

逗子市浄水管理センター・環境クリーンセンター見学報告 6月17日

浄水管理センターでは処理能力に余裕はあるが雨水の混入により汚泥にヨウ素や、セシウムが検出され販売できなくなって、敷地内に保管されているとのことでした。また、油の除去が最も問題であり、てんぶら油やその他油類を下水に流さないよう心がけることが大事です。環境クリーンセンターでは、ペットボトルや容プラの再商品化にあたり不適物の除去をしているが、市民による分別不徹底による、異物の混入が見受けられるということです。また、最終処分場が来年度で満杯になるので、より一層のごみ減量が喫緊の課題です。

「亀岡八幡宮夏まつり」クリーン作戦に参加して

7月15、16日亀岡八幡宮例祭のクリーン作戦は今年で3回目になりました。年々落ちていくごみの量も少なくなり、来ている人のマナーもよくなりました。出店者もごみ箱を用意している所もあり、ごみを気にしている様子でした。

今後はもっと多くの団体にクリーン作戦参加を働きかけるのも一つの対策かも知れません。

「ごみ分別達人講座」に参加して

特に市民にお願いしたいことの一つを紹介いたします。それはミックスペーパーの禁忌品についてです。次に示すようなものが混ざっていると、紙を再生する妨げになります。混ざらないよう気を付けてください。

- ・粘着物の付いた封筒や親展葉書・紙コップ、紙皿などの防水加工紙・油紙・金銀などの金属が箔押しされた紙・合成紙・アイロンプリント紙・感熱性発泡紙・感熱紙・印画紙の写真・インクジェット写真プリント用紙・感光紙・裏カーボン、ノーカーボン紙・石けん、洗剤、線香などの包装紙や紙箱など匂いのする紙等。



ごみ減量知恵袋 Part8

生ごみを市に出さないで済む「コンポスト」を長年使っています。生ごみの上に土をかけることがコツなのですが、それだけでは十分ではありません。生ごみなのでどうしても内部の湿度が高くなり、虫が付きやすくなります。虫が付くので嫌だ、という人も多いと思います。そこで私は虫を避けるため「コンポスト」の上部やふたに電動ドリルで直径2～3ミリの小さな穴をたくさん開けました。穴を大きくすると虫が入り出てしまいます。これで湿気が抜けるようにしたら虫が付きなくなりました。上にかかる土もなるべく乾いた土のほうがいいです。最近では、市役所の拠点回収場所から植木ごみの剪定チップをもらってきて入れています。大変乾燥しており、木の香りもして大変良いです。